

気を付けようトラッキング火災

梅雨から夏にかけて湿気が多い時期において、トラッキング現象が原因となる火災が発生しています。以下のことに注意し、トラッキング現象による火災を未然に防ぎましょう。

○トラッキング現象による火災とは

コンセントに長期間電源プラグを差し込んだままにしておくと、コンセントとプラグとの隙間にほこりが徐々にたまっていき、このほこりが空気中の水分などを吸うことにより、プラグの両刃間にわずかな電流が流れるようになります。それが繰り返され、やがてこの部分から火が噴き出し、火災となります。これがトラッキング現象による火災です。

○トラッキング現象による出火を防ぐためには

トラッキングによる出火を防ぐための安全対策は以下のとおりです。

1. コンセントやテーブルタップに差し込んだままになっている電源プラグは、時々抜いて乾いた布で拭き取る。
2. 器具の使用後は、スイッチを切ってコンセントからプラグを抜いておく。
3. 電源プラグ及びコードが熱くなっているときは、すぐに使用をやめて電気店に点検してもらう。

特に洗面所や台所など、湿気が高く湯気や水滴が直接掛かる位置にあるコンセントは注意が必要です。大掃除などの機会をとらえて掃除やチェックをし、長期間外出するときは、出来るだけコンセントからプラグを抜いておきましょう。

【お問い合わせ先】

奈良県広域消防組合 広陵消防署

警防課 0745-55-4123